

平成29年度5月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成29年4月28日（金）午前11時00分～11時20分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ8社

会見内容

1. はじめに（1項目）

1. 第1回釧路わかもの△(さんかく)カイギについて

■ 若者主体の市民有志の方々が立ち上げた、まちづくりについて検討する団体「釧路わかもの△(さんかく)カイギ」が、平成29年5月20日（土）に釧路公立大学2階食堂ホールにて、釧路市に住む、またはゆかりのある18歳から39歳までの若者を100人規模で集めて、第1回会議として開催する予定です。

■ 内容は、「地域のことを色々と考えて挑戦したいと思っているが、一人では難しい」とか、「同じ志の仲間が必要だ」と考えている若者が集い、思いや考えを共感・共有し、ともに希望の実現に向けて取り組むためのきっかけの場となっております。

■ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも「わかものの希望がかなうまち・くしろ」と掲げており、自分の住みたいまちを創造（想像）するため、ぜひ多くの方々に参加していただきたいと思います。

2. 話題提供（2項目）

1. 釧路市ストレスフリーな店づくり支援事業補助金の募集について

■ 市では、訪日外国人受入のモデル都市を目指す観光立国ショーケースの形成に向けて、釧路駅・北大通・釧路川河畔周辺の一部と阿寒湖温泉地区を外国人観光客の皆さんがストレスなく街歩きできる「ストレスフリーエリア」と位置づけ、整備を進めてまいります。

■ その一環として、今般、外国人の皆さまが言語や文化の違いに関わらず、ストレスなく買い物や食事ができる環境を整備する小売店や飲食店を支援する、「釧路市ストレスフリーな店づくり支援事業補助金」を創設いたします。

■ 対象事業は、

- ① 無料公衆無線LAN環境の整備
- ② トイレの洋式化
- ③ 外国語会話指さしシートの作成

④ 外国語メニュー表の作成
を予定しており、これらの整備に係る経費の一部を補助金として交付いたします。

- 募集時期は5月15日（月）から1カ月を予定しております。
募集開始の際には、補助対象となる要件や経費、申請方法等、制度詳細について、釧路市ホームページやフェイスブックへ掲載するほか、釧路商工会議所をはじめとする関係機関の皆さんにもご協力をいただきながら、「ストレスフリーエリア」に位置する、北大通や阿寒湖温泉地区の小売業、飲食業の皆さんにお知らせしてまいります。
- この補助金と併せて、今年度予定しております、釧路川河畔の無料公衆無線LANの整備や、EGGや河畔駐車場のトイレの洋式化を行うなど、官民一体となった「ストレスフリーの環境整備」を進めてまいります。

2. 第二期釧路市観光振興ビジョン概要版について

- 「第一期釧路市観光振興ビジョン」は、観光振興を進めていく上での基本目標や施策の方向性などを示すため、平成19年3月に策定し、10年程度を目標に各事業の推進に取り組んでまいりました。
- 本ビジョンについては平成28年度に見直しを行い、第二期となる釧路市観光振興ビジョンを策定し、このたび、その概要版が完成いたしました。
- 第二期ビジョンにつきましては、概ね第一期ビジョンの体系を受け継ぎ、3つの分野に基づく9本の戦略に位置付けられた事業は継続するほか、観光立国ショーケースや国立公園満喫プロジェクトなど、国の大きな観光施策に選定されたことも踏まえ、各戦略にインバウンドへの対応を位置付けるとともに、市街地の魅力向上として観光インフラの構築分野を新たに加えたことなどが特徴です。
- こうした国のプロジェクトなどを追い風にしながら、観光を釧路市の経済を支える重要な地域のリーディング産業としていくため、目指す姿として掲げている「持続可能な自立型の地域経済の実現」に向けて、計画の目標年次を平成29年度から概ね10年後とし、最重要指標となる「経済波及効果」を基準年次（平成21年）の2倍（約500億円）に高めることを目標値といたしました。
- 今後のビジョンの推進につきましては、地域が一体となって取り組むための共通指針として、行政や観光事業者だけではなく、多様な関係者と連携を図りながら、より効果的な観光振興を進めていけるよう、計画の推進・管理に努めてまいります。

3. その他（2項目）

1. 鶴ヶ岱公園日本庭園リニューアルオープンセレモニーの開催について

- この度、釧路造園組合様の創立50周年を記念し、鶴ヶ岱公園日本庭園のリニューアルを行っていただきました。
- 鶴ヶ岱公園の日本庭園は、昭和62年に同組合の創立20周年を記念して寄贈されたもので、今回は庭園の前方を新たに拡張・造成し、庭園の入口に数寄屋門を設置したほか、「ツツジ」や「シャクナゲ」などを植樹したものです。
併せて藤女子大学・短期大学の同窓会「藤の実会」様からも「藤の木」を寄贈されたことにより、さらに季節折々の花が楽しめる庭園となりました。
- 生まれ変わった日本庭園のテープカットなどのオープニングセレモニーを5月28日（日）の「くしろチューリップ&花フェア」で行います。
また本イベントでは恒例となっている表千家同門会による「市民茶会」を開催し、天気が良ければ、野点を行う予定です。
お茶を楽しみながら、ゆっくりと日本庭園を觀賞していただきたいと思います。
- 「くしろチューリップ&花フェア」へお越しの際はぜひ、日本庭園にも足をお運びください。

2. シンポジウム「釧路の挑戦 観光立国ショーケース実現に向けて」の開催について

- この度、釧路市と日本航空の共催により、日本が歩むべき観光戦略を論じた「新・観光立国論」の著者である、デービッド・アトキンソン氏を釧路市にお招きし、「釧路の挑戦 観光立国ショーケース実現に向けて」と題したシンポジウムを、5月13日（土）午後2時30分から、釧路プリンスホテルを会場に開催いたします。
- 英国出身のアトキンソン氏は、元金融アナリストであり、現在は世界規模の視野から日本の観光立国に向けた戦略と可能性を研究されており、さまざまな場を通じて、ターゲットは欧米圏であることを提言されております。
釧路市の今後の観光施策実現に向けて、大変重要なご意見を伺えるものと思っております。
- シンポジウムの内容は、第1部でアトキンソン氏により地方都市におけるインバウンド観光戦略についての基調講演をいただき、第2部では欧米圏市場獲得に向けた釧路市の観光戦略についてパネルディスカッションを行います。

- 定員は、200名となっており、観光に携わる方々をはじめ、多くの釧路地域の皆さんにご参加いただきたいと思っております。
- 釧路市といたしましては、引き続きさまざまな観光推進事業に取り組んで参りますので、このようなシンポジウムを通して、地域住民の方々へのショーケースに対する理解を深めるとともに、釧路地域の観光施策を、この機会に知っていただければと思います。

4. 質問要旨

(質問)

- ・ 「釧路市ストレスフリーな店づくり支援事業補助金」と「IoT活用おもてなし実証事業」とは、事業実施等で関連があるのでしょうか。

(観光振興室長補佐)

- ・ 国の実証実験として実施する「IoT活用おもてなし実証事業」は、ストレスフリーエリアを含めた、釧路市内での外国人観光客の飲食店利用や小売店での購入の際の利便性の向上を図るという目的がありますので、お互いの事業をリンクさせながら進めていくという考えです。

5月下旬には同時に2つの事業説明会を予定しています。

(質問)

- ・ この事業の予算額及び予定件数はどのくらいでしょうか。

(市長)

- ・ 予算額は150万円です。

件数については、どのくらいの応募があるのかはわかりませんが、多くの応募があれば大変ありがたいと思います。

(質問)

- ・ 先日釧路地方総合開発促進期成会の特別委員会が開催されたが、今後JRや他の期成会との協議などのスケジュールはどのようになっているのでしょうか。

(市長)

- ・ 釧路地域の期成会は鉄道の利活用、利用促進策を中心に議論することとしています。

そのためには釧網線と花咲線がどのように利用されているか、現状の実態を把握し、しっかりと理解しなくてはならないと考えておりますので、まずはJRからお話を伺うことが必要であると考えています。

現在、5月中の開催に向けて調整を進めているところです。